

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                          | 景気の現状判断       | 業種・職種                     | 判断の理由  | 追加説明及び具体的状況の説明  |
|-----------------------------|---------------|---------------------------|--|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(北関東) |               | *                         | *  | *   |
|                             |               | コンビニ（経営者）                 | お客様の様子   | ・キャンペーンで、お勤めの声掛けをしており、客がプラス1品の購入を比較的受け入れてくれている。声掛け効果で単価が上昇し、200円のところ、もう1品の購入で300円のセールスとなっている。コンビニだからか、新商品の販売動向も好調である。         |
|                             |               | その他小売<br>[ショッピングセンター]（統括） | 来客数の動き   | ・3月末に大幅な施設リニューアルを控え、それに期待している。  |
|                             |               | 一般レストラン（経営者）              | 来客数の動き   | ・降雪など天候によって左右されたが、前月までが悪過ぎたためか、今月は比較的動きがある。   |
|                             |               | 都市型ホテル（副支配人）              | 販売量の動き   | ・室単価は回復しており、稼働率、売上共にこの10年間の最高を記録している。ただ、近隣にかなり安売りをしている競合があり、客層が一部かぶっているのが、頭の痛いところである。   |
|                             |               | 旅行代理店（従業員）                | 競争相手の様子  | ・競争相手が好調で、当社も売上が伸びている。  |
|                             |               | 通信会社（経営者）                 | 販売量の動き   | ・地方は相変わらずの不景気だが、年度末に向けて多少、売上の向上や見積合わせが入ってきている。  |
|                             |               | テーマパーク（職員）                | 来客数の動き   | ・例年に比べて暖かく降雪が少ないことから、来客数が増加している。  |
|                             |               | ゴルフ場（総務担当）                | それ以外   | ・当ゴルフ場は1月7日～3月8日までクローズ期間で、来場者はないが予約の受付は行っている。現在の予約状況は、3月の予約が956人で、前年は868人、前年比110.1%、4月の予約は1,232人で、前年1,299人、同比94.8%と順調に推移している。 |
|                             |               | 設計事務所（所長）                 | 競争相手の様子  | ・公共工事の発注件数増加により、忙しい業者が多くみられる。   |
|                             |               | 一般小売店[精肉]（経営者）            | お客様の様子   | ・今月も寒い日が続いている。日差しのある間は暖かい日もあるが、朝晩は冷え込んで人の動きは少ない。高齢者が多い街なので、夕暮れになると時間が早いのに人通りがなくなる。皆、家にあるもので間に合わせているようである。                     |
|                             |               | 百貨店（営業担当）                 | 販売量の動き   | ・食品大型物産展など好調な部分も見受けられるが、依然として、主力商材である婦人衣料の低迷が顕著である。春物商戦が始まっているが、特に目立った動きもなく、引き続き厳しい状況である。                                     |
|                             |               | 百貨店（営業担当）                 | 販売量の動き   | ・食品や化粧品は堅調だが、衣料品が前年を下回る結果になっている。例年に比べて気温も高めに推移しており、外的要因は好状況にもかかわらず、春物の動きが良くない。  |
|                             |               | 百貨店（店長）                   | 来客数の動き   | ・2月半月ではやや上向き傾向であるが、年始からの動向をみる限り、不透明感は否めない。  |
|                             |               | スーパー（商品部担当）               | 単価の動き  | ・集客はまずまずで推移しているものの、客単価の落ち込みが2%と売上苦戦が続いている。特に、生鮮系の数値が良くなく、農作物の単価下落の影響なども大きい。   |
|                             | 乗用車販売店（販売担当）  | 販売量の動き                    | ・車の販売も前年と全く変わらず、良くも悪くもない。このまま景気が良くなるとも悪くなるとも思わないので、変わらない。  |   |
|                             | 乗用車販売店（販売担当）  | 来客数の動き                    | ・前年までは日曜祝日であっても、車を見るということで多少は客が来ていたが、1～2月に入って、全くと言ってよいほど、来客数がない。サービスの修理関係は順調だが、販売につながる来場者が激減している。この1～2月は特にひどい。 |   |
|                             | 自動車備品販売店（経営者） | 単価の動き                     | ・販売量は、前年と比べて特別多いわけではない。単価について客があちこち比較する傾向があり、なかなか成約に結び付かない。  |   |

|                           |        |   |
|---------------------------|--------|---|
| 住関連専門店<br>(仕入担当)          | 来客数の動き | ・気温が高めに推移しており、冬物の処分状況は鈍いが、春に向けての園芸、自転車などの準備の動きは、前年を超えている。プラスマイナスで相殺すると余り変わらず、微減状態が続いている。                                |
| 一般レストラン<br>(経営者)          | 単価の動き  | ・来客数は若干増えてきているようだが、客単価は下落気味である。上向きを感じる事象と下向きの事象が混在している。こうした状況が続くとみている。  |
| 都市型ホテル<br>(営業担当)          | 販売量の動き | ・1～2月は閑散期で、11～12月の良い時期と比べれば全体的な稼働率は下がっているが、例年、この程度の稼働と予測している。ホテルによっては例年よりも良い状況のところもあるが、これが今後のベースとなって良くなっていく状況ではないと見ている。 |
| 都市型ホテル<br>(営業)            | 来客数の動き | ・最近では人の動きがやや停滞気味であったが、ここにきて、やや盛り返して前年を若干上回る状況である。しかし、3月以降いろいろな商品で値上げ等があり、サービス業にも影響が表れるのではないかと不安である。                     |
| 旅行代理店(経営者)                | 来客数の動き | ・ゴールデンウィークの10連休を控えているのに、申込みが増えない。設定金額が高過ぎるのかもしれない。  |
| 旅行代理店(所長)                 | 来客数の動き | ・今年は大雪の影響もなく安定した天候ではあるが、逆に雪を必要とするスキー場、山間地域でのイベントやスキー客への悪影響が大きいようである。  |
| タクシー(経営者)                 | お客様の様子 | ・昼の動きが少し良かったので、前年同月と比べて2%の増収である。  |
| 通信会社(経営者)                 | お客様の様子 | ・景気が良いと言われているが、実感を持っていない様子の客が多く見られる。  |
| 通信会社(営業担当)                | 販売量の動き | ・販売数は前年とさほど変わらない。3月の繁忙期に向けて、消費の動きが鈍い。   |
| 通信会社(局長)                  | 販売量の動き | ・当社は新規開局エリアがあるため、顧客数は順調に伸びているが、周りの事業者からは景気の良い話は聞こえてこない。人材不足から、人材確保にお金を掛けているため、派遣会社への支払が利益を圧迫しているようである。                  |
| 競輪場(職員)                   | お客様の様子 | ・来場者数、購買単価共に、ほぼ変化がみられない。  |
| 設計事務所(所長)                 | 来客数の動き | ・特に来客が増えてはいない。客の予算は控え目である。  |
| 住宅販売会社<br>(経営者)           | お客様の様子 | ・例年2月は移動の時期で貸家等の引き合いは多いが、今年はどうしたことか、意外と数が少ない。店舗についても、最近では引き合いが少なく、余り動きがない。宅地も安い物件への引き合いはあるが、まだまだデフレが進んでいるようである。         |
| 商店街(代表者)                  | お客様の様子 | ・商店街に客止まり的な施設がないためか、客足は遠のいている。景気は本当に悪く、とうとう日曜定休日の店がちらほら出てきている。  |
| 百貨店(副店長)                  | 販売量の動き | ・年末以降、客の購買意欲の低下を実感している。   |
| コンビニ(経営者)                 | 来客数の動き | ・1日当たりの来客数が前年と比べて、平均マイナス40人で、客単価は変わらない。特に、土日は前年より良くない。  |
| 家電量販店(店長)                 | 単価の動き  | ・単価、来客数共に、下降気味である。  |
| 家電量販店(営業担当)               | 販売量の動き | ・販売量、単価共に前年比90%と苦戦している。イベント等で購入意欲を上げていきたい。  |
| 乗用車販売店<br>(経営者)           | お客様の様子 | ・1月は新車販売、車検等の整備売上が予想以上に伸びた反面、2月はかなり落ち込み、1～2月のトータルでは前年より微減となっている。  |
| その他専門店<br>[靴小売業]<br>(経営者) | 単価の動き  | ・前年2月は、遅い降雪で単価の高い物が売れたが、今年は暖冬で、販売が苦戦を強いられている。   |
| スナック(経営者)                 | 来客数の動き | ・平日の夜に出かける客が少なくなっている。   |

|                             |                      |              |   |
|-----------------------------|----------------------|--------------|---|
|                             | その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）  | お客様の様子       | ・現時点では一部の業界に限られているが、社員食堂廃止の動きがみられる。業績悪化に伴う福利厚生実施制度の見直しによるものである。今後の先行きによっては、こうした動きが、広がってくることも懸念される。  |
|                             | タクシー（役員）             | お客様の様子       | ・筆舌に尽くし難い。  |
|                             | 通信会社（総務担当）           | 来客数の動き       | ・購入目的の来客が半減している。  |
|                             | 美容室（経営者）             | それ以外         | ・12月の忙しくなる時期に、従業員6人の内2人が辞めた。「他店の方が給料が良いと友人に勧誘された」とのことである。元々、忙しさ対策の雇用人数だったので、従業員の勤務体勢に多少のゆとりがあり、働きやすい職場を目指す当店は、まあまあ良いのではないかと思っていたので、退職を聞かされたときは、労使間の感性の違いや店の将来に不安を感じた。1月からの2か月間で従業員のために店休日を増やし、その分の売上、来客数共に減少である。人間相手で、なおかつ人の手でする職業の限界を痛感している。 |
|                             | 美容室（経営者）             | 来客数の動き       | ・毎月勤労統計や賃金構造基本統計の不適切な調査は、理解に苦しむ。アベノミクスに都合の良い数字集めで、統計の礎が揺らいでいる。何より問題を認識しながら、隠ぺいし続けた体質が、問題である。  |
|                             | その他サービス〔自動車整備業〕（経営者） | お客様の様子       | ・最近、一部の飲料や食品が値上がりしているせいか、車の安全整備に費用を掛けない客が増えている。収入の頭打ち状態が長引いているので仕方がないのか。  |
|                             | 衣料品専門店（販売担当）         | 来客数の動き       | ・今月に入って、極端に客の出が悪い。何と云って良いか分からないくらい悪く、「廃業も視野に」という感じである。今どうするか、先行きも不安で仕方がない状況である。   |
|                             | タクシー運転手              | お客様の様子       | ・今月は特に、タクシーを利用する客が少なくなっている。毎年2月は暇な時期だが、今年は今までにないほど暇である。朝は多少動くが、午後から夜、深夜の利用客が減っている。  |
|                             | 住宅販売会社（経営者）          | 販売量の動き       | ・1月からずっと販売は落ち着いてしまっている。消費税増税の景気対策発表後から落ち着き始めたため、経過措置の内容が影響していると思われる。  |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(北関東) | -                    | -            | -   |
|                             | 金属製品製造業（経営者）         | 受注量や販売量の動き   | ・ここ3か月ぐらいずっと、売上が安定している。これからもこの安定した景気が続くとよい。   |
|                             | 電気機械器具製造業（経営者）       | 受注量や販売量の動き   | ・売上、受注量共に前年と比べて、大体10～15%増えてきている。消費税増税後は、ちょっと分からないが、10月くらいまではかなり良くなるのではないかとみている。   |
|                             | その他製造業〔環境機器〕（経営者）    | 受注価格や販売価格の動き | ・環境装置の製造販売では、ここ1～2年で購入品が相当数、値上がりしているため、年明けから15%の値上げ案内をしている。特に、フロン回収機は廃家電プラント企業で全国同一条件のため、値上げを依頼している。  |
|                             | 建設業（開発担当）            | 受注量や販売量の動き   | ・公共工事主体で売上の95%を占める建設業である。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。前政権時は建設業が悪者扱いされていたが、その後、東日本大震災や災害対応で、建設業が重要視されている。今期の公共工事は前期比15%増、特に、地方業者に直結する市町村発注が前年比20%増であり、当社受注も10%増である。ただし、現在、労働力不足で従業員確保の難しい状況を問題として抱えている。   |
|                             | 窯業・土石製品製造業（総務担当）     | 受注量や販売量の動き   | ・特別には何も無いが、順調に推移している。   |
|                             | 電気機械器具製造業（経営者）       | 受注量や販売量の動き   | ・前月同様の状況である。  |

|                       |                       |              |  |
|-----------------------|-----------------------|--------------|--|
|                       | 輸送用機械器具製造業（経営者）       | 取引先の様子       | ・現在、得意先は11社あるが、取引先の様子や受注量、販売量等の動きは、まあまあ忙しいところ、暇なところと半々で、どちらとも言えない状況である。  |
|                       | 輸送用機械器具製造業（経営者）       | 受注量や販売量の動き   | ・自動車の北米販売が86か月連続で前年超えとなっているが、一連の自動車メーカーの不正検査問題により、国内販売及び生産は前月と横ばいである。  |
|                       | 輸送業（営業担当）             | 取引先の様子       | ・2月は新生活者向けの商材、特に、白物家電やインテリア、テーブル、ラック類の輸送依頼が、前年並みにある。燃料価格高騰や運賃値上げもあったものの、全体的に前年並みの状況となっている。   |
|                       | 経営コンサルタント             | 取引先の様子       | ・中小製造業、小規模下請企業、中小卸売業等の景況は、ほぼ落ち着いている。飲食店などはそこそこ客が入り、普通の景気といえる。ただし、2月は営業日数が少ない分、売上が減る傾向にある。  |
|                       | 司法書士                  | 受注量や販売量の動き   | ・ほんのわずかだが、好転している。ただ、やや良くなっていると1ランク判定を上げるまでには、至らない。   |
|                       | 社会保険労務士               | 取引先の様子       | ・建設関係は中小でもそこそこ良いが、消費者相手の中小企業は厳しい状況が続いている。  |
|                       | その他サービス業〔情報サービス〕（経営者） | 受注量や販売量の動き   | ・年度末の影響もあり、販売量、金額共に増加している。   |
|                       | 金属製品製造業（経営者）          | 受注量や販売量の動き   | ・2月の売上は、2018年4月からの今期平均を下回っている。   |
|                       | 一般機械器具製造業（経営者）        | 取引先の様子       | ・受注が落ち始めた同業者や近隣の工場が増えてきている。  |
|                       | 建設業（総務担当）             | 受注量や販売量の動き   | ・年明けから、想像以上に動きが悪い。   |
|                       | 不動産業（管理担当）            | 受注価格や販売価格の動き | ・顧客が建物の賃借面積を減らしたため、賃貸収入が下がっただけでなく、清掃やメンテナンスの費用も引き下げられ、収入が減少している。この他にも契約額を減額した取引先がある。取引内容の改善により、利益率が向上したところもあるが、全体としては売上、利益ともマイナスである。 |
|                       | 広告代理店（営業担当）           | 受注量や販売量の動き   | ・消費税再増税前の駆け込み需要はなく、むしろお金を使うことに消極的である。  |
|                       | x                     | -            | -  |
| 雇用<br>関連<br><br>(北関東) | 人材派遣会社（社員）            | 求人数の動き       | ・オフィス系職種において、派遣だけではなく、直接雇用を前提とした紹介予定派遣や人材紹介の依頼が増えてきている。  |
|                       | 職業安定所（職員）             | 周辺企業の様子      | ・都内や他の市町村から「事業拡大、新規工場立ち上げのため、新たに求人募集をしたい」という問合せがある。  |
|                       | 学校〔専門学校〕（副校長）         | 雇用形態の様子      | ・この時期の事務職等求人でも、正社員枠の採用がたくさんある。また、建築系や運送業などの求人も充足していないようである。  |
|                       | 人材派遣会社（経営者）           | 求人数の動き       | ・今のところ、仕事が忙しいところも暇なところもないので、余り変わらない。   |
|                       | 人材派遣会社（管理担当）          | 求職者数の動き      | ・派遣求職者は高時給なら多数いるものの、低時給だと応募者はいない。時給を上げれば人が集まる状況は、以前と変わらない。   |
|                       | 職業安定所（職員）             | 求人数の動き       | ・前年同月比で新規求人数は2.9%増、有効求人数は2.0%増と、3か月前と比べても前年同様の傾向である。新規求人を産業別でみると、建設業が前年比36.6%のマイナスとなっている。公共工事の減少や民間工事の少ない状況がみられる。                    |
|                       | 職業安定所（職員）             | 求人数の動き       | ・3か前と比べて、新規求人数は2.5%減少し、有効求人数は13.4%増加となっている。有効求人倍率は、0.53ポイント増加して2.70倍となっている。  |

|  |                 |        |  |   |
|--|-----------------|--------|--|---|
|  | 人材派遣会社<br>(経営者) | 求人数の動き | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小売店、食品関係等の販売員募集は結構目立っている。介護、看護等は依然として募集傾向で、人材が見つからず、人手不足である。運送関係、運輸、通信等の募集も目立っている。小売店舗等はスーパーが中心で、販売に注力しており、品数は目立つものの、客の購買力は鈍っているように見受けられる。建設関係は、公共事業のみで、住宅等の増改築は少ないようである。</li> </ul> |   |
|  | x               | *      | *  | * |